

国土地理院北陸地方測量部ニュース

とやまみんなの地図作品展と表彰式の開催

11月14日(土)、15日(日)の2日間、フューチャーシティ「ファボーレ」ときめきの広場において「とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この地図作品展は、富山県内の小・中学生を対象に、身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察、調査し、それらを地図として表現することにより環境や地図、さらには地域に対する関心を深めてもらうことを目的に開催しています。

今回は、小学校の部門に12校から21点、中学校の部門に2校から33点の作品の応募がありました。この中から優秀作品、小学校の部5点、中学校の部6点の合計11点を展示しました。また、14日には同会場にて表彰式を行い、優秀作品の11人に吉池北陸地方測量部長から表彰状が授与されました。

とやまみんなの地図作品展には、2日間で2,000名を超える来場者があり、熱心に作品展を見る親と子供達の姿が多く見受けられました。



展示会場の様子



表彰式の様子

第30回石川県高等学校測量技術コンテストの開催

10月30日(金)石川県緑地公園において、第30回石川県高等学校測量技術コンテストが開催されました。この大会は、実習、部活動等で習得した測量技術を、チームの協力、連携による共同作業によってその成果を競い、測量技術の向上と学校の交流・親睦をはかることを目的としています。石川県高等学校技術教育研究会が主催し(社)石川県測量設計業協会の共催で北陸地方測量部が後援しています。北陸地方測量部からは松崎次長が参加し、総合優勝した小松工業高校に北陸地方測量部長賞を授与しました。

コンテストは、石川県内で測量を学ぶ5校の生徒が「水準測量」「平板測量」「多角測量」の3部門で日頃の学習成果を競い合いました。各部門の優秀賞は「水準測量」の部門を七尾東雲高校、「平



水準測量のコンテストの様子



平板測量のコンテストの様子



多角測量のコンテストの様子



内業のコンテストの様子

板測量」の部門を翠星高校、「多角測量」の部門を金沢市立工業高校がそれぞれ受賞しました。

今大会は、各部門とも例年になく激戦で審査会場では、各校の先生方による意見交換が熱心に行われていました。また、審査員の講評においては、石川県測量設計業協会のメンバーによる実作業をふまえた講評があり、大変有意義なコンテストでした。石川県高等学校測量技術教育研究会のさらなる活躍を期待しております。

敦賀市立敦賀西小学校及び小浜市立雲浜小学校で地図教室を開催

福井県測量設計業協会は、10月26日に敦賀市立敦賀西小学校（5年生40名）、12月8日には、小浜市立雲浜小学校（6年生28名）で地図教室を開催しました。

地図教室は両校とも2部構成で行われ、前半は「地図教室（地図ができるまでといろいろな地図記号）」というテーマで北陸地方測量部の田村調査専門職及び船津専門職がそれぞれの学校へ講師として参加しました。地図の作り方や、身の回りにある代表的な地図記号をクイズを交えながら紹介したほか、両小学校周辺の移り変わりを古い地図や空中写真を使って説明しました。

後半は、測量設計業協会員指導のもと、歩測による距離測定や三角定規を使った高さ測定の体験が行われました。初めて触れる測量機器や実際に体験した測定数値を見て、両校の児童も測量体験を楽しんでいました。



熱心に聞き入る雲浜小学校の児童



三角定規を利用して高さを測る敦賀西小児童

測量法、公共測量普及説明会を輪島市にて開催

国土地理院北陸地方測量部は石川県の協力を得て、平成21年11月5日、石川県輪島市の石川県奥能登行政センターにおいて、「地理空間情報の活用推進に向けた測量法、公共測量普及説明会」を開催しました。

今回の説明会は、石川県奥能登地域の県機関及び2市2町の建設及び農林水産部門の担当者を対象に、23名の参加がありました。講演内容は、「測量法と公共測量について」「地理空間情報整備に

関する国土地理院の取り組みについて」「電子国土基本図整備事業について」の3つのテーマで北陸地方測量部の職員より説明し、測量法に基づく公共測量の手續及び地理空間情報活用推進基本法の普及啓発並びに国土地理院の事業についての情報提供を行いました。また、質疑応答においても地理空間情報の整備及び活用に関する活発な意見交換が行われました。



信越トレイルの登山道調査を実施

国土地理院では、登山者の安全性向上の観点から、著名な山において登山道の変化情報を収集しており、必要に応じて現地調査を実施しています。

2008年9月に、NPO法人「信越トレイル」によって新潟県と長野県の県境、斑尾山～天水山ま

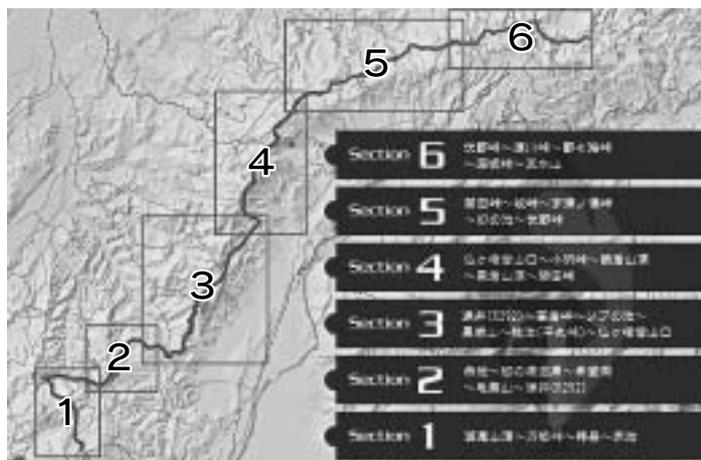


図-1 信越トレイルコース概略図

で、約80kmに渡る登山道「信越トレイル」が整備された事により、北陸地測で11月上旬に現地調査を実施しました。メインコースだけでも約80kmと長距離なため、本院と関東地測とで連携し、作業地域を3分割した1地区を受け持ち、実施したものです。

【作業分担】

関東地方測量部 (Section-1～Section-2)
 本院 (Section-3～Section-4)
 北陸地方測量部 (Section-5～Section-6)

調査は、GPS受信機を携帯し、受信しながら登山道を通行することにより、その軌跡を計測しますが、GPS衛星からの電波は物陰に弱く、杉林等の樹林帯や、尾根の鞍部、



図-2 作業風景



図-3 GPS専用のリュック

谷の中では頻繁に受信が途絶えてしまいます。その度に歩みを止め、受信するまで辛抱強く待ちながらの作業となります。

北陸地測が担当した作業範囲は、距離にしておよそ35km（本ルート以外も含む）で、3日間かけて調査を行いました。ルートは整備が良く行き届いており、案内標識や目印等も多くて判りやすい登山道でした。人気もあるようで、晩秋のなか、多数の登山者が利用している様子でした。

今回作業した成果は、現在国土地理院で整備中の電子国土基本図（地図情報）に反映し、電子国土で近日公開の予定となっています。

北陸地区県担当者会議及び産学官連絡会議の開催

平成21年11月17日、富山合同庁舎の大会議室において、「北陸地区県担当者会議（以下、「県担当者会議」）」及び「地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議（以下、「産学官連絡会議」）」が開催されました。

「県担当者会議」では、北陸地方測量部管内の4県（新潟、富山、石川、福井）の公共測量及びGIS担当部署から8名が参加、測量行政に関する情報の提供を行うとともに、地理空間情報活用推進に関する最近の動向について意見交換を行いました。

「産学官連絡会議」では、企業、NPO法人、大学・専門学校、県、国等の関係機関が連携を図り、北陸管内の地理空間情報の活用を推進するために、情報提供、意見交換等を行うことを目的として初めて開催されました。冒頭に会議の名称、目的、活動内容等を規定する設置要綱（案）が承認され、28名の構成員等が出席し、大学関係からの情報提供と共に活発な意見交換が行われました。会議には国土地理院の吉兼参事官が出席し、基調となるプレゼンが行われました。



北陸地区県担当者会議



北陸地方産学官連絡会議

座長をしていただいた鹿田教授からは、県からの問題提起やWGによる具体的な議論の必要と本会議の重要性及び今後の積極的な参加が呼びかけられ、最後に、吉池北陸地方測量部長より、今後は、更に他の関係者に広く呼びかけ、会議の充実を図っていく旨を述べて、閉会しました。

新刊地図（北陸地方測量部管内）

2万5千分1地形図（桎判3色）

図名（読み）	地図番号	測量年・種別	刊行年月日
内野（うちの）	長岡 1-2	19年更新	H21.11.1
糸魚川（いといがわ）	富山 2-4	19年更新	H21.12.1
下唐川（しもからかわ）	七尾 1-4	19年更新	H21.12.1

数値地図25000（地図画像）

図名	刊行年月日
長岡	H21.12.1
高山	H21.12.1